

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック
RI.D2590ガバナー / 長戸はるみ
横浜旭RC会長 / 北澤 正浩

ガールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日 / 12時30分～1時30分

2024年8月7日 第2551回例会 VOL.56 No.4

- 司会 SAA 佐藤 勉
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 斉唱 君が代、奉仕の理想、四つのテスト
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	13名
本日の出席率	68.42%	修正出席率	57.89%

- 本日の欠席者
日向、中谷、二宮、宋、佐藤(真)、関口
- オンライン出席者 福村、草柳

- ビジター
加野 亮一様 (地区会員増強委員長: 神奈川東RC)
柴田 健様 (地区会員増強副委員長: 横浜中RC)

- ゲスト
宋 潤坤さん (米山奨学生) オンライン出席



皆さんこんにちは、ここは私の新しいアパートです。ここ数日は生活の準備等であまり勉強はしていませんでした。でももうすぐ勉強を始

めますし、来週にはインターンシップも始まります。

- 誕生日祝い 関澤会員 8.2



- 会長報告 北澤 正浩

みなさん、こんにちは。連日猛暑が続いております。皆様におかれましては、くれぐれもご体調には十分ご留意ください。

さて、パリオリンピックが開幕し、既に後半に差し掛かっておりますが、日本選手団の活躍には目を見張るものがあります。日本の選手たちが世界の舞台でどのようなパフォーマンスを見せてくれるのか、非常に楽しみにしておりますが、その期待を上回る成果を挙げております。

特に注目すべきは、スケートボード競技において吉沢恋選手が金メダルを獲得した瞬間です。14歳の中学生が世界の舞台で堂々と活躍

する姿は、私たちに大きな感動を与えました。日本の若者の底力を感じるとともに、将来に対する希望を新たに抱くことができました。これまで、日本の将来について悲観的な見方をしていた方々も、彼女の活躍を通じて希望を見出すことができたのではないのでしょうか。

そして柔道です。女子48キロ級において、角田夏実選手は、その卓越したともえ投げを駆使し、見事に金メダルを獲得しました。男子の7階級においては、66キロ級の阿部一二三選手と81キロ級の永瀬貴規選手がそれぞれ2連覇を達成し、その実力を再び証明しました。

特に印象深かったのは、2回戦で世界ランキング1位のケルディヨロワ選手に一本負けを喫し、悔し涙を流した阿部詩選手の姿です。世間では様々な批判が飛び交っていますが、何かを成し遂げるために真剣に向き合った人の悔しさを思えば、他人がどうこう言うことではありません。私は彼女の健闘を称え、彼女の努力を尊重する人でありたいと思います。

今回のオリンピックは、判定や運営などに関する疑問や不満が多く寄せられている大会となっておりますが、世界各国の選手たちが一堂に会し、競技を通じて技を競い合うこのオリンピックの開催は、やはり素晴らしいものであると感じます。

しかし、その一方で、世界各地では依然として紛争が続いております。ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻、その他にも多くの地域で国同士の紛争や内戦が絶えません。これらの現実を目の当たりにするたびに、私たちは心を痛めざるを得ません。

私たちは、オリンピックが真の平和の祭典となる日を心から願っております。スポーツを通じて国境を越えた友情と理解が深まり、世界が一つになる瞬間を目指して、私たち一人一人が平和の大切さを再認識し、行動していくことが求められています。

さて、本日は会員増強フォーラムを開催いたします。神奈川東ロータリークラブの地区会員

増強委員長である加野亮様をお迎えし、卓話を賜ります。会員増強は当クラブにとって最も重要な課題の一つであり、クラブの活性化と将来の運営を確実にするためには、会員の増強が不可欠であると考えております。本日は、加野様から貴重なアドバイスやヒントをいただき、今後のクラブ運営に役立ててまいりたいと存じます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



■公共イメージ委員会 新川 尚

世界ポリオデーイベントのご案内
2024年10月6日(日) 13時～17時
横浜市役所 アトリウムにて

※ポリオ撲滅Tシャツ購入のお願い。

■ニコニコBOX

加野 亮様(地区会員増強委員長) / 本日は
よろしくお願い致します。

柴田 健様(地区会員増強副委員長) / こんに
ちは。地区会員増強委員会の柴田です。本日は
加野委員長の応援でメイクアップに参りました。
よろしくお願い致します。

北澤 正浩／神奈川東 RC 加野亮一様、横浜中 R 柴田 健様、本日はお越しいただきまして。ありがとうございます。

目黒 惠一／地区の会員増強委員長加野亮一様（神奈川東 RC）、副委員長柴田 健様（横浜中 RC）。本日卓話よろしくお願ひします。

新川 尚／地区増強委員長加野亮一様、本日の卓話宜しくお願ひします。

安藤 公一／加野様、柴田様ようこそ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。②パリ五輪の日本人選手の頑張りに心よりの敬意を表します。

田川 富男／加野地区会員増強委員長様、副委員長柴田 健様本日の増強卓話ありがとうございます。

関澤 信吾／①加野様、本日の卓話楽しみにしています。②誕生日祝い頂きます。ありがとうございます。

岡田 隆／地区会員増強委員長加野亮一様、副委員長柴田 健様、本日はよろしくお願ひいたします。

五十嵐 正／地区会員増強委員長加野様本日はお忙しい中お越し下さいましてありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。

■ 2024-25 年度会員増強委員長 加野亮一様



1. 現状の会員増強と環境

最高の会員数 3,152 人であった 1993-1994 石澤 G 年度から、現在は 1,818 人（未確定）の 1,334 人の 42%減少しています。緩やかな減少が現在も続いています。

個人的にその減少理由の 1 つとして推測するにインターネットやスマホの普及やそれに伴う



コンテンツを誰でも自由に作れる事によって、ロータリーのメリットの 1 つでもある異業種の交流の場や機会が全国で毎日のように行われています。

インターネットと直接は関係なくても、全国的規模で組織もしっかりしたものも現在は多く、また奉仕活動を積極的にしている団体や集まりも世の中に数え切れないほどあります。それらに勝って会員を増やすにはロータリーならではのロータリーでしかない価値をアピールする事は有効な手段の 1 つではあると考えます。

2. 会員増強と退会防止

会員増強については純粋な会員の増加と既存会員の退会防止があげられます。

まずは会員増強について各クラブの意識はいかがでしょうか？よく聞くセリフは「もう自分は歳だから、会員増強は若い人をお願いするよ」とかいう会員が多いそんな雰囲気はありませんか？

また各クラブには会員増強委員会があると思

いますが、例年の会員増強委員長の気持ちは「どうせ簡単に人は増やせないし、自分が頑張っても増えないし、1年後に人が増えなくても責められないし・・・」みたいに思っている委員長ではありませんか？仕方ない事だとは思いますが、これでは偶然以外はきっと会員増強は見込めないでしょう。

それでは自分が新規会員候補者を呼べないなら、クラブの為に退会防止には協力しようと思っているのでしょうか。その為に自分は何ができるか？と考えている会員がどれだけいるのでしょうか。退会防止には既存会員に対するものと新入会員に対する施策があると思います。

3. 具体的方法と今後の展望

地区の会員増強委員会としては具体的な方法・施策を提案していきたいと思っています。2590地区だけではなく他の地区の会員増強が成功しているクラブのやり方を収集して、それらを具体的に提案したいと思っています。

- ・エレクト会員制度 トライアル会員制度
- ・ルーキー会 LINE グループ 各種企画の実施
- ・いろんな同好会の創設
- ・例会前に各種ドリンクが飲めるスペースを作り会員同士の交流のスペースを作る等々

成功しているクラブの方法を具体策として紹介できるように取り組みたいと思います。

■次週予告

8/28 夜間移動例会

点鐘 18:30 会場：サンハート

日向会員・関澤会員 イニシエーションスピーチ

■ロータリーボイスより

ロータリー学友世界奉仕賞に緒方貞子氏

元国連難民高等弁務官であり、元ロータリー国際親善奨学生緒方貞子氏に、2016-17年度ロータリー学友世界奉仕賞が贈られました。

外交官の家族に生まれた緒方氏は、第二次世界大戦後、国際関係に関心を抱き、米国ワシントンD.C.のジョージタウン大学大学院へ留学。1951年、日本人として2人目のロータリー国際親善奨学生となりました。

「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの

方々との交流を通じて、見識を広げ、さまざまな経験ができた」と緒方氏は振り返ります。「『超私の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」



カリフォルニア大学バークレー校から博士号を取得後、日本に帰国した緒方氏は、現在ロータリー平和センターがある国際基督教大学と早稲田大学で教鞭をとりました。その後、1991年に国連難民高等弁務官（UNHCR）に就任。さらに、国連総会で日本代表、国連日本政府代表部とユニセフの執行理事会議長も歴任しました。

国連難民高等弁務官としての10年間、緒方氏は、湾岸戦争、ルワンダと旧ユーゴスラビアでの民族紛争、冷戦時代のアフガニスタン紛争における難民、そして旧ソビエト連邦から逃れてきた難民を支援しました。

難民問題と国際的な安全保障には深い関係があると訴えることで、国連難民高等弁務官事務所の予算と人員を拡大。国連安全保障理事会との関係を強化し、その貢献が高く評価されています。「難民を守ることは、その性質上、論争の的となり得る」と緒方氏。「行動を重んじるダイナミックな（UNHCRの）活動を実行するには、主権国家に挑むことが求められます。これらの国は自国民以外、そして時には自国民への対応に迫られるからです」

2000年にUNHCRを退職後も、政府や国際関係の舞台で積極的に活動し、国連人間の安全保障委員会共同議長やアフガニスタン支援日本政府特別代表などを歴任。国際協力機構（JICA）の理事長を2期務めたほか、小泉純一郎元首相が設置した有識者会議のメンバーとしても活躍しました。

政府関係の仕事に携わったことで、変化をもたらす民間人と市民グループの力を知ったと緒方氏は話します。

「私たちは急速に変化する世界に生きています。世界がこれまでになく複雑な脅威にさらされている中で、市民社会の役割や人びとのつながりが、これまで以上に重要性を増しています」

最優秀学友会賞は、ロータリー第1210地区学友会（英国）に授与されました。同学友会は、定期的にクラブ例会や地区行事に参加し、地区内の家庭に絵本を寄贈するプロジェクトを実施しています。